

都道府県アーチェリー協会（連盟） 殿

（公社）全日本アーチェリー連盟  
競技部長 津 田 正 弘  
（公印省略）

2017年度 1級公認審判員新規認定会の開催について

下記の要領にて、（公社）全日本アーチェリー連盟 1級公認審判員認定会を開催します。

1. 日 時 2018年 2月 4日（日） 10時00分 ～ 15時30分
2. 会 場 東京都内  
※ まだ、会場が確定しておりません。  
決定次第、加盟団体にご連絡させていただきます。
3. 参加資格 年齢が30歳以上で（公社）全日本アーチェリー連盟2級公認審判員として5年以上の経験を有する者。  
申込時70歳未満が望ましい。（1級公認審判員として実際に活動できる者）  
加盟団体が申請し、地区審判委員会が推薦する者であること。  
その他詳細については、公認審判員規程を参照のこと。
4. 持 参 物 全日本アーチェリー連盟競技規則（2016～2017年版）、筆記用具
5. 受 験 料 3,000円（申し込み時に納入すること）  
<振り込み先>  
みずほ銀行 渋谷支店（210） 普通預金 79992  
口 座 名：全日本アーチェリー連盟
6. 受験申込 別紙参加申込書により1月24日（水）までに、受験料を添えて本連盟事務局宛に申込みこと。  
申 込 先：（公社）全日本アーチェリー連盟  
〒150-8050 東京都渋谷区神南1丁目1-1 岸記念体育会館4F  
TEL：03-3481-2402 FAX：03-3481-2403
7. 注 意 1)合格者は実務研修後に、正式に公認1級審判員の認定となる。  
事前研修修了者は1級審判員の資格を認定される。  
2)テスト内容は広範囲な知識を有し、且つ実務経験も豊富であることを確認するものである。  
3)出題範囲は、全日本アーチェリー連盟競技規則（2016～2017年版）に記載されている事項及びその応用とする。  
4)小論文は前もって作成し、当日持参して受付時に提出すること。  
当日会場で小論文を作成する時間はないので注意すること。  
『小論文課題』  
今後1級審判員として活動して行くにあたり、競技委員長、DOS、審判長それぞれの役職として、あなたが考える心構えを2級審判員としての経験を踏まえて書くこと。また、所属する加盟団体における1級審判員としての役割、貢献できる事、行なってみたい事等を書くこと。  
※原則として、Word等のソフトを使用して、A4用紙に横書き。フォントは10.5Pt以上を使用すること。最初に表題を書き、加盟団体名（〇〇県アーチェリー協会等）氏

名を必ず記入すること。  
枚数の制限はなし。

#### 8. 認定会タイムテーブル

|       |   |       |                    |
|-------|---|-------|--------------------|
| 10:00 | ～ | 10:30 | 受 付 (小論文を受付時に提出)   |
| 10:30 | ～ | 12:00 | 講習会                |
| 12:00 | ～ | 13:00 | 昼食休憩               |
| 13:00 | ～ | 15:00 | テスト (競技規則持ち込み可能)   |
| 15:00 | ～ | 15:20 | テストの解答と解説 (解答例の配布) |
| 15:20 | ～ | 15:30 | 実務研修等について          |

9. その他
- 1) 休憩後、テストの開始に遅刻した者は、残りの時間内にテストを終了しなければならない。なお、不参加の場合でも費用は返却しない。
  - 2) 受験者の費用は負担しない。  
宿泊を希望する者は各自で手配すること。
  - 3) 可否の判定は後日受験者に通知する。  
通知用の封筒 (切手貼付) に受験者の住所を記入の上当日持参し受付時提出のこと。
  - 4) 返信用封筒に入れて受験者に返送するもの
    - ・合格判定 (テスト) の通知書
    - ・総評 (答案用紙は返却いたしません)
    - ・新規認定申請書 (合格者のみ)
    - ・申請手続きの説明書 (合格者のみ)
    - ・実務研修申請書 (合格者のみ)

#### 10. 実務研修について

テスト合格者は、次年度開催の連盟主催主要競技会での実務研修が義務付けられています。  
実務研修終了後に正式に公認1級審判員の資格となります。

実務研修する競技会は、各自が希望する競技会を指定 (複数) して下さい。研修していただく競技会は後日連絡します。

実務研修に関わる諸費用 (交通費等) は各自負担となります (試合の前泊は各自負担ですが、試合当日の宿泊費は本連盟が負担いたします)。

本申請の締切は各競技会開催の2ヶ月前までとなります。

実務研修は「①事前」「②事後」のいずれかで研修すること。

- ① 事前研修：認定会受講予定年 (度) 以内に受験する
- ② 事後研修：基本的には翌年度中に研修を修了する

※ 前後1年以内であれば猶予を認める。受験後2年 (度) 以内に研修を修了するものとする。

2018年度開催予定の連盟主催競技会名及び日程 (実務研修対象競技会)

(開催地、開催場所は予定ですので連盟HPで再度確認して下さい)

##### 1) ターゲット

- ① 全日本小学生中学生大会 : 6月16日～17日 (山梨県・山中湖村)
- ② 全日本社会人選手権大会 : 6月23日～24日 (青森県・青森市)
- ③ I S P S H A N D A C U P : 9月15日～16日 (愛知県・岡崎市)
- ④ 全日本選手権大会 : 10月26日～28日 (静岡県・掛川市)
- ⑤ 全日本室内選手権大会 : 2019年2月16日～17日 (山口県・岩国市)

##### 2) フィールド

- ① 全日本選手権大会 : 5月25日～27日 (岩手県・八幡平市)
- ② 全日本社会人選手権大会 : 10月13日～14日 (京都府・京都市)